

【檀原市】

校務DX計画

令和5年3月8日付け文部科学省発「GIGAスクール構想の下での校務DXについて」により通知された課題において、本市の課題として次に掲げるものとする。

- ・校務処理の多くが職員室に限定され、働き方改革に選択肢が少ない
- ・汎用クラウドツールと統合型校務支援システムの一部機能との整理

校務支援システムが閉域ネットワークで構築していることから職員室限定とした運用となっている。そこで、汎用クラウドツールなどを活用し、このような環境を改善していくことにより、働き方改革や安全で働きやすい環境の実現に寄与するものとする。

- ・帳票類の標準化が道半ば

帳票類については、紙のままが多い状況である。「教育情報セキュリティポリシー」を策定しているが、クラウドツールの使用を前提としていないため個人情報の取扱において、クラウドツール活用の障害となっている。

- ・学習系データと校務系データとの連携が困難
- ・教育行政系・福祉系データ等との連携が困難

これらについては、テナントに保護者が対象となっていないことから保護者や家庭との連携面でクラウドツールが十分に活用されていない状況である。また、教育行政系と福祉系とでは、ネットワークの環境に大きな隔たりがあり、相互の連携を前提としていないため、例えば、データを連携して支援を要する者の支援等に繋げることが困難である。

以上のことから、課題があることが確認できたが、一方で、校務DX化のチェックリストによる点検結果では、クラウドツールの活用が進んでいるという成果が学校、学校設置者ともに確認できる。

これらを踏まえ、本市では、令和7年度及び令和8年度に教育系ネットワークの更新を計画している。その際、現在の学習系と校務系が分離されている環境を見直し、ゼロトラストセキュリティネットワークを採用してフルクラウドベースでの環境下で校務DXをすすめていくことを視野に入れて、環境の構築を検討していく。また、クラウド活用を前提とした教育情報セキュリティポリシーの改定を計画している。